

高等学校 令和4年度(2学年用) 教科 福祉 科目 生活支援技術

教科: 福祉 科目: 生活支援技術 単位数: 4 単位
 対象学年組: 第 2 学年 4 組~ 組

使用教科書: (実教出版: 生活支援技術) (副教材: 中央法規 生活支援技術 I、II)

- 教科 福祉 の目標:
- 【知識及び技能】 福祉分野について、体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身につけるようにする
 - 【思考力、判断力、表現力等】 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よい社会の構築を目指して自ら学び、発展的かつ協働的に取り組む態度を育む
- 科目 生活支援技術 I・II の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
こころとからだのしくみの知識を踏まえ、利用者の方の特徴に合わせた、根拠ある支援であることを理解でき、技術向上に繋がられる。	技術支援時の手順や一連の動きを専門用語を適宜活用することができ、ポイントなど留意点の色別分別表現でき、思考における表現力を育むことができる。	生活力を高める努力を行うことで自立した生活から、専門職としての視点が培い、より自分らしく豊かな成長に繋げ、自律に繋がられる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第6章 入浴・清拭保持の介護 第1節 生活を支える入浴 P98 自立に向けた入浴 中央II P108 VSサイン ①体温、脈、血圧の測定の仕方 【知識及び技能】 利用者の方に合わせた、清潔保持の手段、支援方法がわかる。	「指導事項」 自己の生活を理解し不自由を理解することができる 「演習」 ①入浴(洗身、介助)体験 ②部分浴(手、足浴)、清拭体験 ③外周リ体験 髭剃り、爪切り、ドライヤー介助 ⑤身体観察 こころと体のしくみの教科書を使用し、体のしくみを理解させる ・入浴することで、体への影響が理解でき目的や意義、手順を学ぶことができる。 ・入浴前準備や注意事項、入浴中や入浴後の観察、注意事項を学び、体力の消耗を防ぎ、安全な入浴について理解できる。 ・また、関連職種との連携の取り方や確認事項について学べる。	【知識・技能】 利用者の方の身体的特徴が理解でき、入浴における機械浴形態や特徴を習得することができる。 【思考・判断・表現】 体験を通し、気づきの視点を専門用語を用いて言語化することができ、キーワードやポイントなど自分なりの整理がされている。				17
【思考力、判断力、表現力等】 体験の気づきを専門用語を用いた言語表現が行える。 【学びに向かう力、人間性等】 洗身や清拭時、観察などから気づいたことなど追記整理が行える。	「講義」こころとからだ教科書活用 ※VSとは、測定の仕方 ①清潔にする目的、意義、手段 ②清潔にする際の注意事項 ③洗身、清拭時の手順 ④入浴前後における環境準備 ⑤関係職種との連携 ⑥観察のあり方	【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出期日厳守され、介助時の手順など、体験から得た情報が取り組まれている。				17
定期考査			○	○	○	1
第7章 排泄の介助 検P108 第1節 自立を支える排泄介助 第2節 排泄における介護技術 P113 自立に向けた排泄の介助 中央:P162 【知識及び技能】 排泄物の性状がわかり、身体状況につなげた観察がわかる。	「演習」 介助時の多立ち位置がわかり利用者の方の残存能力に合わせた技術習得につなげられる。支援時互いの動きがわかり、ボディメカニクスを用いた支援ができる。模擬便を使用し、陰部洗浄の手法、技術が習得できる。	【知識及び技能】 排泄物の性状がわかり、身体状況につなげた観察力が習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察から得られた情報を専門的知識を用いて専門用語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 一連の動きがイメージでき、補う部分の支援技術を習得できる。				12
【思考力、判断力、表現力等】 観察から得られた情報を専門的知識を用いた表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 一連の動きがイメージでき、補う部分の支援方法がわかる。	「講義」こころとからだ教科書活用 羞恥心を伴う行為のため、排泄しやすい環境が理解でき、排泄物の性状や失禁について知識が得られる。 清潔保持し、感染を防止した清潔手段目的、効果について学習できる。 ・特殊な排泄方法がわかる。					11
定期考査 夏休み(DVD鑑賞、課題) 実習(10日間)						1

